

<b>教育目標</b>	
健康で、心豊かに、自分で考え、いきいきと遊ぶ子どもの育成	
<b>年度末の最終評価</b>	
自己評価	<p><b>教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し</b></p> <p>遊びへの意欲や心を動かす姿が十分に見受けられ、いきいきと遊ぶ姿が見られた。環境に自らかわり様々にやってみようとし(「探究」)、ものや人とのかわりを喜び(「ふれあい」)、自分の力を発揮しようとする(「誇り」)姿がみられた。基本的な生活習慣の確立や自立に向けて自分で考えて行動する部分については、保護者と連携し進めていく必要がある。</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>幼稚園での温かい雰囲気の中、家庭とは違う場でも安心して自分らしさを出して、幼稚園生活を送っていることを嬉しく思い、子供たちの成長を感じる。</p> <p>有隣学区の園舎で過ごす最後の一年であった。子どもたちが地域の行事に参加することで、活気があった。また、幼稚園の行事を参観することで、子どもたちの成長の様子や幼稚園での教育を身近に感じることができた。来年度からは、移転するが、支援や協力できることを考えていきたい。</p>

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	10月24日(木)	学校運営協議会
最終評価	2月22日(土)	学校運営協議会

(1) 幼稚園教育(保育の改善・充実)について

<p><b>具体的な取組</b></p> <p>○幼稚園週計画案と保育実践、評価の連動から日々の保育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*自らが取り組み、探究する保育</li> <li>*身近な環境に興味や関心をもち、関わりやふれあいを楽しむ保育</li> <li>*自分らしさを発揮し、自立する保育</li> </ul> <p>○日々の子どもの姿や事例を通して、教職員で話し合い、情報交換をし、保育に活かしていく。</p> <p>○探究、ふれあい、誇りの視点からカリキュラム・マネジメントを通し接続カリキュラムを編成する。</p>
<p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <p>○保護者アンケートを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもは幼稚園の遊びを楽しんでいますか」</li> <li>・「いろいろなもの、こと、人との関わりやふれあいを楽しんでいますか」</li> <li>・「友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」</li> <li>・「自分のことは自分でしようとしていますか」</li> <li>・「教職員は話しやすく、相談しやすいですか」</li> </ul> <p>○幼稚園週指導案の実践や評価からカリキュラム・マネジメントを通して年間指導計画や接続のカリキュラムに反映させる。</p>

中間評価

<p><b>各種指標結果</b></p> <p>アンケート項目について、保護者も教職員も高く評価をしている。週案、保育の実践や評価反省、事例研修から、年間指導計画に反映させることを少しずつ進めている。</p>	
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>週案を充実させることで保育実践につながり、保育の評価や反省、次週の保育構築へと循環が行われている。</p> <p>エピソードや園内研究の事例などから教員が検討し、多面的に幼児理解することにつながっている。</p> <p>保護者や教員の評価から「子どもは幼稚園の遊びを楽しんでいますか」の項目は高く、主体的な遊ぶ様子から安心して幼稚園生活を送っていることが伺える。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>今ある環境を活かし、子どもたちが進んで遊び出せるよう、引き続き環境構成の工夫をしていく。事例研修や週案や保育の実践から教育指導計画や接続カリキュラムの編成を進め、保育実践に生かしていく。</p>
	<p><b>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</b></p> <p>○年間指導計画や接続期のカリキュラムを踏まえた週案の作成、反省評価</p> <p>○アンケート項目「子どもは遊びに取り組み、進める中で満足感を味わっているか」</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>行事等の様子からも子どもたちの様々な成長を感じる。幼稚園では家庭ではできない経験をさせてもらっている。子どもの能力の可能性は無限であり、それを、自由に温かく見守ってもらうことで、力を発揮していつている。今後も保護者も地域も一緒に子どもたちのためにやっていきたい。</p>

最終評価

<p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <p>アンケート項目について、保護者も教職員も高く評価をしている。週案、保育の実践や評価反省、事例研修から、年間指導計画に反映させている。接続期のカリキュラムについても見直している。</p>	
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>子どもたちと担任との信頼関係や担任の幼児理解が深まったり、担任が生活の見通しをもてるようになったりして、より週案が充実することで保育実践につながり、保育の評価や反省、次週の保育構築へと循環が行われた。</p> <p>園内事例研修や小学校教員との合同の研修会などで、8年間の子どもの発達を見通して指導計画を見直したり、接続期のカリキュラムについても見直したりすることができた。</p> <p>保護者や教員においては「子どもは遊びに取り組み、進める中で満足感を味わっているか」の項目の評価は高く、主体的な遊ぶ様子から安心して幼稚園生活を送っていることが伺える。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>新園舎の新しい環境にまずは、安心、安定して慣れ、安全に過ごすことができるように子どもの様子をよく見て援助をいく。子どもたちが安心して、したい遊びをすることができるよう引き続き環境構成の工夫をしていく。</p>

学校関係者評価	<b>学校関係者による意見・支援策</b>
	毎日、幼稚園に「〇〇がしたい」と、目的をもって意欲的に楽しんでいる。子どもがとても自発的になり喜んでいる。作品展などの子どもたちの作品からも子供の発想力の豊かさや集中して取り組んでいる様子が伺われ、子どもたちからエネルギーをもらった。子どもの成長を感じるとともに周りの大人が安易に手を貸さず、見守る大事さも感じる

**(2) 幼小連携・接続に関して**

<b>具体的な取組</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の遊びや生活、及び小学校との交流活動などの子どもの事例から幼稚園での「育てたい資質・能力」(探究・ふれあい・誇り)を探る。</li> <li>・探究・ふれあい・誇りの視点から接続カリキュラムを編成する。</li> </ul>
<b>(取組結果を検証する) 各種指標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「育てたい資質・能力」(探究・ふれあい・誇り)についての事例検討をする。</li> <li>○各発達段階における「育てたい資質・能力」(探究・ふれあい・誇り)の姿から接続カリキュラムをつくる。</li> </ul>

中間評価

自己評価	<b>各種指標結果</b>
	<p>事例検討により、子どもの発達を捉えること、その時期に大事な環境構成と教師の援助について互いに協議することができた。</p> <p>近隣小・中学校への公開保育(ミシルウィーク)、下京雅小学校との合同研修会が実施できた。</p>
	<b>分析(成果と課題)</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校・幼稚園での「育てたい資質・能力」(探究・ふれあい・誇り)について、互いの捉え方について意見を交わすことができた。共通理解もできつつある。</li> <li>○事例検討や研究保育を重ねることで、丁寧に子どもの様子を見ていくことで、幼児理解や保育の改善につながった。</li> <li>○昨年に引き続き、幼稚園を参観してもらうことで幼稚園教育を小学校へ発信することができた。事例検討や交流保育、研究での取組などについてはこれから互いに伝え合いながら、共有していく。</li> </ul>
	<b>分析を踏まえた取組の改善</b>
	<p>「育てたい資質・能力」(探究・ふれあい・誇り)についての事例検討を引き続き行う。事例をもとに探究・ふれあい・誇りの視点を生かし、接続カリキュラムの編成を進める。</p> <p>研究発表会での小学校や就学前施設への発信をするとともに、丁寧に対話を重ね、幼稚園と小学校の連携を深める</p>
	<b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公開保育や研究発表会の実施</li> <li>○公開保育や研究発表会、交流保育の実施に向けた話し合いの実施</li> </ul>
学校関係者評価	<b>学校関係者による意見・支援策</b>
	幼稚園で育まれた向上心や探究心をどんどん深め、学校へとつなげていってほしい。幼稚園でも業者の弁当の日を設けているが、学校給食にもつながっていている。家では食べないものを幼稚園では食べることができ、さらに家庭にも広がっているなど、幼稚園での食育が推進されている。

価	
---	--

最終評価

<p><b>中間評価時に設定した各種指標結果</b></p> <p>公開保育や研究発表会、交流保育の実施に向けた話し合いで、互いの教育について知り合う機会を多くもつことができ、それぞれの教育に生かしていこうとすることができた。また、11月に公開保育、研究発表会を、3学期には、近隣の小学校・中学校への公開保育ミシルデーを実施し、幼小接続に向けて幼稚園教育の発信ができた。</p>	
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>○小学校・幼稚園での「育てたい資質・能力」（探究・ふれあい・誇り）について、幼稚園はエピソードから捉え、小学校はエピソードシートに表すことで、明確化されつつある。次年度は検討を重ね、妥当性、信頼性の向上を図る。</p> <p>○幼稚園教育を発信することで小学校教員の子ども理解や「学びに向かう力」の育成や評価についての意識の変容が見られた。次年度は同敷地内になることで、様々にかかわることも増え、互いの教育についての理解を深め、保育実践に生かしていくことができるようにする。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>新園舎への移転に伴い、園児、保護者、教職員が安心して過ごすことができるように「育てたい資質・能力」の視点から遊びや生活、園行事を熟考すること、さらに小学校との同敷地内になる環境を生かし、教育指導計画や接続カリキュラムの編成を見直し、保育実践に生かしていく。</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>幼稚園と小学校とが様々に交流できることが互いにとって有意義である。さらに、地域のお年寄りなどとも交流できる機会があるとさらに良いように思う。</p>

**(3) 預かり保育に関して**

<p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢での関わりや安心して遊べる内容を設定する。</li> <li>・新たに毎月1回リズム遊びを新たに取り入れる。</li> </ul>
<p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <p>○預かり保育参加者数や参加の感想などから検証する。</p>

中間評価

<p><b>各種指標結果</b></p> <p>子どもたちは異年齢での遊びを楽しみ、安心して自分のしたいことを楽しんでいる。リズム遊びやサッカーの日など、楽しみにしている様子がある。</p>	
自己評価	<p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>保育時間とは違う遊具で、ゆったりと異年齢の友達と遊ぶことができている。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>引き続き、子どもたちが楽しんで過ごすことができるよう、ゆったりとした雰囲気を取り組む。</p>

	<p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <p>預かり保育参加者数や参加の感想などから検証する。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>子どもたちが喜んで、参加している様子から、充実していることが伺える。</p>

最終評価

	<p>中間評価時に設定した各種指標結果</p> <p>預かり保育の充実と保育料の無償化に伴い、就労される方が増え、預かり保育利用者も増えた。子どもたちは落ち着いてゆったりと友達とのかかわりを楽しんでいる。</p>
自己評価	<p>分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題</p> <p>自分の予定や友達の予定など、様々に見通しをもちながら過ごしたり、友達の関わりを広げたりしている様子が見られる。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>引き続き子どもたちが安心して楽しく過ごすことができるように、また、時にはお楽しみの時間をもつことができるように計画していく。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>預かり保育が充実していることで、様々な生活形態の家庭には助かっている。子どもたちが喜んで、参加している様子から、充実していることが伺える。</p>

(4) 子育ての支援に関して

	<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T Aと連携し、新しい未就園児の教育相談のポスターづくりをする。</li> <li>・ 元醒泉校の工事フェンスを広報の場として有効活用をする。</li> <li>・ 未就園児教育相談で、子育ての困りの相談を受けたり、保護者同士の交流や情報提供をしたりする。</li> </ul>
	<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <p>○未就園児教育相談や行事などのポスターをつかって工事のフェンスに貼ったり、児童館や子育てサロンなどで配ったりする。</p> <p>○教育相談や入園の問い合わせの際、どのような情報により問い合わせにつながったかを確認する。</p>

中間評価

	<p>各種指標結果</p> <p>未就園児教育相談や行事などのポスター、新園舎移転に伴ってのポスターをつくり、工事のフェンスに貼ったり、児童館や子育てサロンなどで配布したり、地域に掲示したりすることができた。</p> <p>教育相談や入園の問い合わせの際には、園長が丁寧に対応し、どのような情報が問い合わせにつながったかを確認した。</p>
自	<p>分析 (成果と課題)</p>

已 評 価	ポスターや地域や学校に協力していただいて、配布している楊梅便りなどで広く幼稚園のことを知っていただいていることがわかった
	<b>分析を踏まえた取組の改善</b> 引続き丁寧に対応し、来年度からの園舎移転などについて、広く周知できるようにしていく
	<b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b> ○未就園児教育相談や行事などのポスターやチラシをつくって工事のフェンスに貼ったり、児童館や子育てサロンなどで配ったりする。 ○引き続き教育相談や入園の問い合わせの際、どのような情報により問い合わせにつながったかを確認したり、新園舎や3年保育などについて丁寧に伝えたりする。
学 校 関 係 者 評 価	<b>学校関係者による意見・支援策</b> 来年度の新園舎の移転に伴い、楽しみにしていると同時に地域としても協力できることはしていく。

最終評価

	<b>中間評価時に設定した各種指標結果</b> 未就園児教育相談や行事などのポスターやチラシをつくって工事のフェンスに貼ったり、児童館や子育てサロンなどで配ったりすることで、広く知ってもらうことができた。 新園舎や3年保育などについて丁寧に伝えたりしたことで、広く周知され、興味を持って下さった方が多数おられた。
自 己 評 価	<b>分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題</b> 3年保育や新園舎になることや、小規模保育ルームでの保護者の口コミ、教育相談などでの対応などで、幼稚園のことを知ってもらい、様々に興味をもっていただき、入園につながっている。 子育てについて子どもの発達についてわからないために母親が悩んでいることが多く、教育相談で担当者に話をきいてもらったり、同年代の子どもたちを見たりすることで母親が安心できるようにかかわることができた。
	<b>分析を踏まえた取組の改善</b> 来年度からの取組について、計画をたてて、年度当初から始めることができるように体制を整え、発信していく。
学 校 関 係 者 評 価	<b>学校関係者による意見・支援策</b> 来年度の新園舎の移転に伴い、楽しみにしていると同時に地域としても協力できることはしていく。

(5) 地域とのかかわり (社会に開かれた教育課程) に関して

<b>具体的な取組</b> ・ 祇園祭や地域の伝統扇子の絵付け体験 (5歳児) をする。 ・ 園行事や楊梅だよりの発行をする。 ・ 運営協議会より、図書ボランティアの協力を募り、預かり保育で読聞かせを実施する。
--

**(取組結果を検証する) 各種指標**

○保護者アンケートを実施する。

- ・「子どもは地域の伝統文化にふれることを楽しんでいますか」
- ・「いろいろなものやこと、人と関わることを楽しんでいますか」

中間評価

**各種指標結果**

保護者アンケートは高評価である。

自己評価

**分析 (成果と課題)**

祇園祭や地域の伝統扇子の絵付け体験 (5歳児) を実施し、子どもたちも楽しみ、保護者も喜んでいる。

園行事や楊梅だよりで幼稚園の様子を発信することができた。

**分析を踏まえた取組の改善**

さらに、地域の資源を活用しながら、保育を充実させていく。

**(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標**

○保護者アンケートを実施する。

- ・「子どもは地域の伝統文化にふれることを楽しんでいますか」
- ・「いろいろなものやこと、人と関わることを楽しんでいますか」

学校関係者評価

**学校関係者による意見・支援策**

引き続き、地域としても協力していきたい。

最終評価

**中間評価時に設定した各種指標結果**

有隣学区に感謝する気持ちを伝えることができるように「ありがとう有隣園舎の会」を行った

自己評価

**分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題**

担任が「ありがとう有隣園舎の会」についてその意味や願い、地域の方の思いなどについて子供たちに伝えることで、子どもたちも感謝の思いや郷土愛などが深まった。

**分析を踏まえた取組の改善**

地域の方に感謝の気持ちをもって過ごし、地域で育ったという郷土愛をもつことは子どもの成長過程で重要であることを実感した。新園舎でも、子どもたちにもその思いが伝わるようにかかわっていく

学校関係者評価

**学校関係者による意見・支援策**

新園舎での教育が始まることをとても楽しみにしている。引き続き、地域としても協力していきたい。

**(5) 業務改善・教職員の働き方改革について**

<b>重点目標</b>
勤務時間を有効に使い、優先順位をつけながら業務をこなす。
<b>具体的な取組</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援員さんと連携し、業務の効率化を図るとともに保育の充実につなげる。</li> <li>・ノー残業デーを守る。</li> <li>・長期休業中の年休取得日を増やす。</li> </ul>
<b>(取組結果を検証する) 各種指標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○長時間勤務の時間数を減らす。</li> <li>○年休取得日数を増やす。</li> </ul>

### 中間評価

<b>各種指標結果</b>
教職員は意識して、勤務時間を守って退勤しようとしている 年休取得について、それぞれが意識して、取得しようとしている
<b>自己評価</b>
<b>分析 (成果と課題)</b>
校務支援員と連携し、業務の効率化が図れている。それにより、長時間勤務について改善されていっている。
<b>分析を踏まえた取組の改善</b>
引き続き改善に取り組んでいく
<b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○長時間勤務の時間数を減らす。</li> <li>○年休取得日数を増やす。</li> </ul>
<b>学校関係者評価</b>
<b>学校関係者による意見・支援策</b>
先生の仕事の大変さはよく理解している。保護者や地域の対応など、協力できることをやっていきたい

### 最終評価

<b>中間評価時に設定した各種指標結果</b>
長時間勤務の時間数の削減ができています。 年休取得促進日などでの取得促進などができています。
<b>自己評価</b>
<b>分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題</b>
通常業務に加え、移転に伴う業務など、校務支援員と連携しながら優先順位や区切りをつけることで、業務の効率化への意識改革がなされてきている
<b>分析を踏まえた取組の改善</b>
業務の効率化について意識改革を進め、会議や職朝、研修などについて組織的に改善できることをさらに進めていく

学  
校  
関  
係  
者  
評  
価

学校関係者による意見・支援策

先生の仕事の大変さはよく理解している。保護者や地域の対応など、協力できることをやっていきたい